

「エッ! ワクチンが届かないの?」

「命」優先へ、政治を変えよう

日本
共産党

新型コロナウイルス対策として15回目となる要請を行う日本共産党市議団（6月9日）。
左から、小田桐たかし、高橋あきら、植田和子、いぬい紳一郎各市議

「7月末までに高齢者、11月までに全国民の接種完了」…菅首相の発言を受けたワクチン接種は、7月初頭にとん挫。ワクチンが届かない事態に。さらに緊急事態宣言も4回目発出と、政府の失政・破綻は明らかです。「命」優先の政治へ、力を集め、政治を変えましょう。

日本共産党は、以下の実現に引き続き全力を尽くします。

- ①ワクチンは安定供給と安全・迅速な接種の加速化。
- ②積極的・大規模検査を実施し、陽性者の早期保護。
- ③持続化給付金や家賃支援、医療機関への減収補填など補償拡充。

五輪 感染リスクはさけられない

日本共産党は「五輪・パラリンピックの今年夏開催は中止を」と今年1月から提起。いっぽう緊急事態宣言下でも、五輪開催に固執する菅政権に、広がる国民世論と専門家の提言が「無観客」を決断させました。

五輪ファミリーや報道陣等、数万人規模の来日により、人を介して感染が拡大するリスクは避けられません。コロナ封じ込めに全力集中する政治を一緒に作りましょう。

保健・医療体制の拡充いまこそ

千葉県37市中
流山市の順位

医療施設数（人口1万人あたり）	31位
病床数（人口千人あたり）	35位
医師数（人口千人あたり）	28位
看護師数（人口1万人あたり）	25位

「人口増加率が全国792市で4年連続1位」を誇る流山市。いっぽう医療・保健体制は弱い弱です。保健分野では、市内を管轄する松戸保健所は人手不足が表面化し、感染症対策で追われる市保健センターの残業は、昨年度3千時間を超え、一昨年の約12倍にも。

日本共産党は保健所の新增設を提案。医療体制の量と質の向上については市長も必要性は否定しませんでした。

生理用品を全小中学校トイレに常設へ(2学期～)

奈良県大和郡山市の学校では2個セットの「昼用」「夜用」の生理用品と持ち帰り用の封筒までトイレに置かれています



多くの自治体で支援が広がっている「生理の貧困」。流山市でも思春期独特の感受性豊かな子ども達への支援として、「保健室に取りに行きづらいという心理的な配慮からも市内小中学校のトイレへ配備する」との答弁がありました。また、無償提供と引き換えに名前と利用個数を書かせるという千葉県教育委員会の方針についても「人権に配慮し、市では一切考えていない」と市教育長が明言。画期的です。

また、生活困窮者自立支援事業所での生理用品の配布も4月からスタート。日本共産党は「配慮ある配布方法と配布場所も1か所と言わず複数ヶ所で、人目を気にせず生理用品にアクセスできる支援体制を」と求め、「配布体制の改善、配布場所の拡大を検討する」との答弁をひきだしました。

日本共産党は、ジェンダー平等社会をつくることを綱領に明記し、性別や性的指向に関わらず個人を尊重し、能力を発揮できる社会の実現を目指します。

ジェンダー平等のさらなる前進へ
一緒に力をあつめよう

